

# 都城市部マニフェスト評価結果報告書

平成20年8月25日

## はじめに

地方分権の進展、少子高齢・人口減少社会の到来、住民ニーズの多様化など、地方自治体を取り巻く環境は、明治維新以来の大変な変革期にあるといわれる。

すなわち、厳しい財政状況の中、行政改革、職員の意識改革や公の領域の見直しなどを進め、最少の費用で最大の効果を上げることにより、公共の福祉の向上と地域の繁栄を目指すことが求められている。

一方では、来るべき道州制の実施を前に、より一層の地域間競争の時代が到来しており、それを勝ち抜くためにアイデンティティーの確立が叫ばれるようになってきている。

都城市においても、上記のさまざまな課題に対応するため、平成18年度を初年度として、市長から出された政策ミッションに基づき、各部局において部マニフェストを掲げ、平成21年度を目標年次として取組みを始めたところである。

平成19年度の実績は、4年間の部マニフェストの中間であり、最終の成果目標を達成するために重要な節目となる年度である。そのため、単年度の実績にとどまらず、部マニフェスト全体を見据えて各部局の実績の現状や見通しについてヒアリングを実施した。

そのうえで、当委員会の目的である各部局のマニフェストの実績についての評価の透明性及び客観性を向上させるため、次のとおり各部局の実績を評価した。

## 評価対象と方法

平成19年度に取組んだ12部局のマニフェスト72事業について、各部局からのヒアリングを行い、各委員の評価がより客観的になるように、評価の基準について「都城市部マニフェスト評価に関する指針」を委員の協議により採用し、その指針に基づき各委員が採点を行い、意見を付した。

評価に関する指針においては、評価の視点をその取組みの「到達度」、「貢献度」、「難易度」、「改革度」について設定し採点した。

## 評価日程

次の日程により、部マニフェスト評価委員会を開催した。

- |     |               |        |        |                |
|-----|---------------|--------|--------|----------------|
| 第1回 | 平成20年7月4日(金)  | 13:30～ | 4号委員会室 | 委嘱状交付<br>ヒアリング |
| 第2回 | 平成20年7月14日(月) | 14:00～ | 1号委員会室 | ヒアリング          |
| 第3回 | 平成20年7月23日(水) | 14:00～ | 3号委員会室 | ヒアリング          |
| 第4回 | 平成20年8月8日(金)  | 14:00～ | 1号委員会室 | ヒアリング          |
| 第5回 | 平成20年8月25日(月) | 13:30～ | 4階秘書課前 | 市長へ報告          |

## 課 題

マニフェスト評価制度導入の2年目となる19年度は、18年度取組みの評価に際して当委員会が指摘した意見に基づき、一部の取組みをローリング・ブラッシュアップという形で進化させたことは評価できる。

しかし、取組事項の選定及びその成果目標の設定、具体的取組の実績表記のばらつきなど一部に見直すべき事項が見受けられた。また、平成19年度の取組みは部マニフェストの4年間の取組みの中間年次であることを踏まえ、成果目標達成の見通しや今後の方針などについて確認したが、その見通しや方針が不明確な取組みも一部見受けられた。

今後は、当委員会の意見を参考に、各部局での検討を加え、より実効性のある各部マニフェストの達成に努められたい。

都城市部マニフェスト評価委員会

平成20年8月25日

委員 長	濱 田 英 介
副委員 長	根 岸 裕 孝
委 員	田 阪 讓 二
委 員	横 山 博 彦
委 員	柚之原 久 郎